

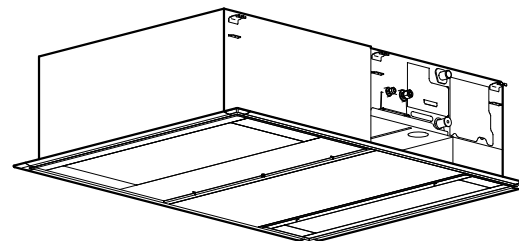
TOSHIBA

東芝パッケージエアコン 取扱説明書



EH99969501-1

R410A冷媒機種



クリーンエリア用天井カセット形

形名	MMU-UP451CH
室内ユニット	MMU-UP561CH
組合わせ室外機は カタログをご覧ください。	MMU-UP711CH
	MMU-UP801CH

形名(別売品)	ワイヤード
リモコン	RBC-AMSU** (省エネneoリモコン) 詳細設定はリモコンに付属している取扱説明書をご覧ください。
	ワイヤレス
	RBC-ATX41 (ワイヤレスリモコン)、TCB-AXRU41 (ワイヤレスリモコン別置受信部) ワイヤレスリモコンを組合わせのときは、リモコンに付属している取扱説明書をご覧ください。

形名(必須別売品)	
HEPA フィルター	TCB-UFP801UC (HEPAフィルター (標準)) TCB-UFP801UCA (抗菌HEPAフィルター)

<下面吸込タイプ>

形名(必須別売品)	
パネル	RBC-UC801PG(W)

<背面吸込タイプ>

形名(必須別売品)	
パネル	RBC-UC801P(W)
角ダクトフランジ	TCB-FLS901BD

もくじ

安全上のご注意	2
リモコン各部のなまえとはたらき	3
各部のなまえ	4
正しい使いかた	4
タイマー運転	5
セーブ運転	6
お手入れ	7
据付について	10
知っておいていただきたいこと	11
このようなときには	12
故障診断	12
点検整備について	13
仕様	13
保証とアフターサービス	16

- このたびは東芝パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わられた場合は必ず本書をお渡してください。
- 据付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。
- 本説明書は、RBC-AMSU51リモコンを接続した場合の操作方法を記載しています。RBC-AMSU51以外のリモコンを接続する場合は、リモコンに付属の説明書をご覧ください。

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。
記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

表示の説明	図記号の説明
警告 “取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容”を示します。	禁止 ○は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
注意 “取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容”を示します。	指示 ●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
<small>＊1：重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。 ＊2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。 ＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる多大な損害をさします。</small>	注意 △は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告

据付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する

据付には専門の知識と技術が必要です。ご自分で据付工事をされ不備があると、火災・感電・けが・水漏れなどの原因になります。

据付を依頼する

フロン類をみだりに大気中に放出しない
フロン類を大気中に放出することは、法律で禁止されています。

禁止

別売品は必ず弊社指定の製品を使用する

指定以外の製品を使用すると、火災・感電・水漏れなどの原因になります。また、取付は専門の業者に依頼してください。

指定製品を使用する

アース工事が正しく行われているか確認する

法律によりD種接地工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。アースを確認する

小部屋に据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う

限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

限界濃度を超えない対策をする

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火の原因になることがあります。

禁止

指定冷媒以外は使用(冷媒補充・入替え)しない
指定冷媒以外を使用した場合、機器の故障や破裂・けがなどの原因になります。

禁止

長時間冷風をからだに直接当てたり、冷やし過ぎない

体調悪化・健康障害の原因になります。

禁止

空気の吸込口や吹出口に指や棒などを入れない
内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になります。

禁止

異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーを切り、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへ連絡する

異常のまま運転を続けると火災・感電・故障などの原因になります。

電源ブレーカーを切る

エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する

冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する

エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

強制

改造は絶対にしない

火災・感電などの原因になります。

禁止

修理はお買い上げの販売店に依頼するか、東芝エアコン空調換気ご相談センターに連絡する

修理に不備があると火災・感電などの原因になることがあります。依頼する

エアコンを移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する

据付に不備があると火災・感電・けが・水漏れなどの原因になります。

移設を依頼する

据付上の警告

使用上の警告

移設・修理などの警告

注意

据付上の注意

ドレン配管が、確実に排水するように施工されているか確認する
配管工事に不備があると水漏れを起こし、家財などをぬらす原因になります。ドレン排水を確認する

漏電遮断器（過電流保護機能付き）が取り付けられているか確認する
法規上、漏電遮断器の取付が必要です。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。漏電遮断器を確認する

蒸気が多く発生するような場所、蒸気発生させる機器近傍に室内ユニットを設置しない
ユニット内蔵部品が結露し、故障するおそれがあります。

禁止

室外ユニットが基礎に固定されているか確認する
基礎に固定しないと転倒などによる事故の原因になることがあります。固定方法を確認する

禁止

エアコンを水洗いしない
感電の原因になります。

禁止

エアコンの風が直接当たるところに燃焼器具を置かない
燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。

禁止

高圧洗浄機などによるエアコン洗浄は行わない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

禁止

燃焼器具といっしょに運転するときは、こまめに換気をする
換気が不十分な場合は酸素不足の原因になります。換気する

換気する

長期使用で据付台などが傷んでいないか確認する
傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながりけがなどの原因になります。据付台を確認する

可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけない
発火の原因になります。

禁止

エアコンの風が直接当たる場所には動植物を置かない
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

禁止

ぬれた手でスイッチを操作しない
感電の原因になります。

禁止

室外ユニットの吸い込み部やアルミフィンにさわらない
けがの原因になることがあります。

禁止

掃除をするときは、必ず運転を停止して電源ブレーカーを切る
内部でファンが高速回転していますのでけがの原因になります。電源ブレーカーを切る

電源ブレーカーを切る

食品・動植物・精密機器・美術品の保存などの特殊用途には使用しない
品質低下の原因になります。

禁止

エアコンのクリーニングはお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターに依頼する
誤った方法で洗浄を行うと、樹脂部品の破損や電気部品の絶縁不良などが発生して故障の原因となったり、最悪の場合は水漏れ・感電あるいは発煙・発火につながるおそれがあります。指示

指示

正しい容量の電源ブレーカーを使用する
針金や銅線を使用すると火災や故障の原因になります。電源は必ず定格電圧でエアコン 正しい電源ブレーカー専用の回路をご利用ください。

正しい電源ブレーカーを使用する

ユニットの上に花瓶など水の入った容器を載せない
ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になります。

禁止

室外ユニットの上に乗らない
けがの原因になります。

禁止

底板開口部に手を入れてアルミフィンや配管にさわらない
けが・やけどの原因になります。

禁止

薬品消毒のときはエアコンを停止する

お部屋を薬品消毒する際はエアコンを停止させ、吸込口・吹出口をビニールシートなどでふさいでください。
エアコン内部に消毒ガスが入ると故障する原因になることがあります。

指示

使用上の注意

リモコン各部のなまえとはたらき

操作部

- このリモコン1台で、室内ユニットを最大16台（TCC-LINK.u通信時 ※）まで運転することができます。
※詳しくは、室外ユニットの据付説明書をご覧ください。
- 一度運転内容を設定すると、そのあとは『運転／停止』ボタンを押すだけでご使用になれます。



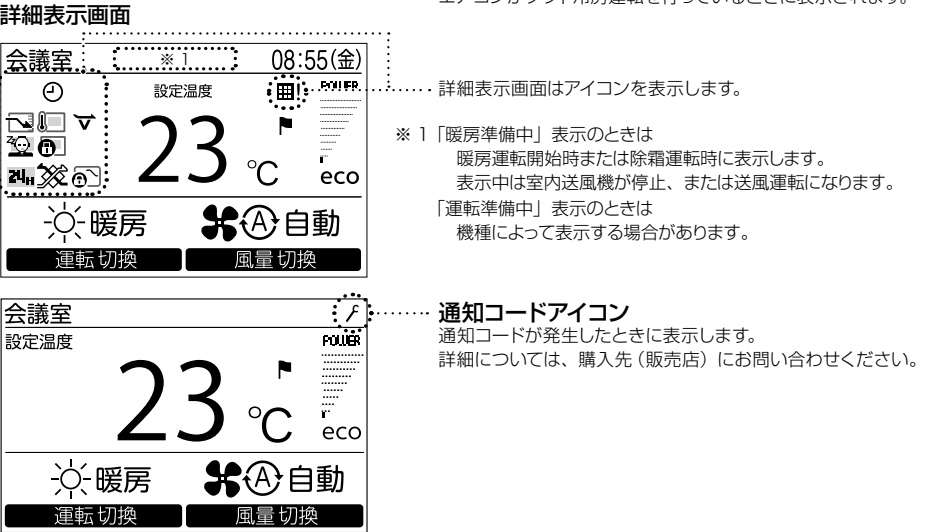
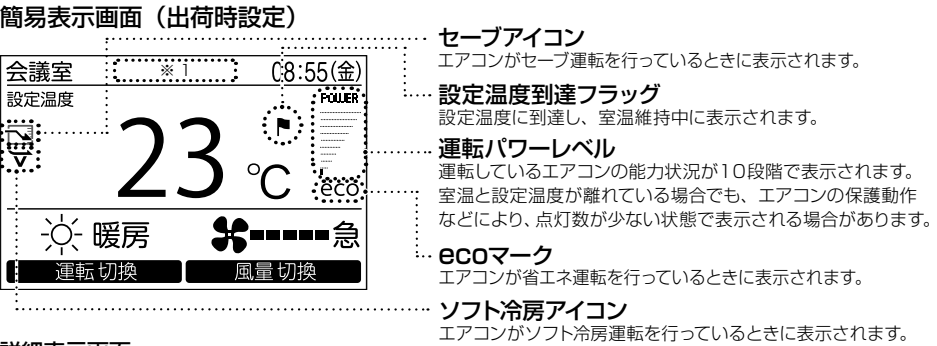
表示部

表示例は説明のためすべて表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。

- 電源プレーカーを最初に入れたとき、リモコンの表示部に「設定中」が点滅します。
この表示中は自動機種確認中ですので「設定中」が消えたあとリモコンの操作を行ってください。

簡易画面・詳細画面の切換

『とりけし』を押しながら『省エネ』を同時に4秒以上押し続けると画面を切り換えることができます。
工場出荷時は簡易画面に設定されています。



◆アイコン一覧

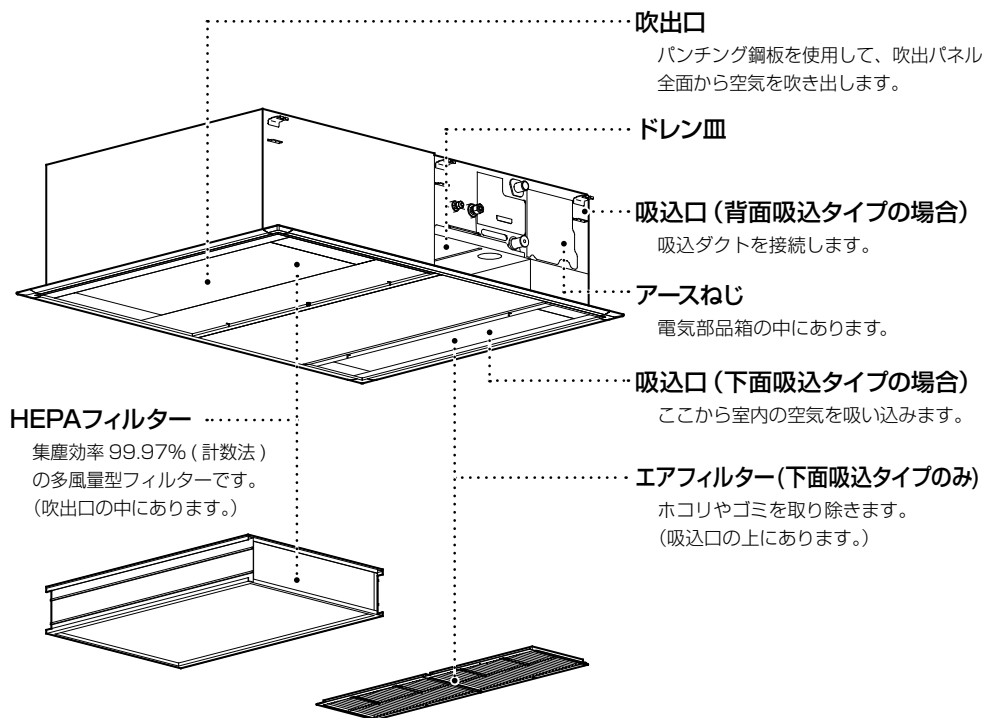
	セーブ運転が有効のときに表示されます。		集中管理操作ロック中に表示されます。
	リモコンセンサーを設定したときに表示されます。		タイマーが有効のときに表示されます。
	室外静音が有効なときに表示されます。		HEPAフィルターの交換目安時期になると表示されます。
	ソフト冷房運転が有効のときに表示されます。		室外機により運転モードが制限されているときに表示されます。

◆換気アイコン一覧

●換気ユニット接続時のみ表示されます。 ●換気アイコンの詳細については全熱交換ユニットの取扱説明書をご覧ください。			
	自動換気		全熱換気
	普通換気		24時間換気

各部のなまえ

室内ユニット



別売品

リモコン



- 「集中管理リモコン」などを併用した応用制御については、各リモコンに付属の説明書をご覧ください。

正しい使いかた

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。
次回から『運転/停止』ボタンを押すだけで操作した設定内容の運転を開始します。

準備

電源ブレーカーを入れる

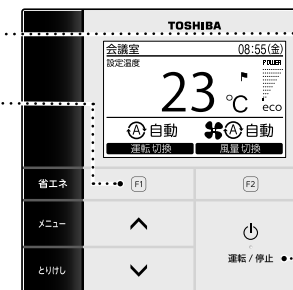
- 電源が入ると、リモコン表示部に仕切線が表示されます。
※電源が入ったあと、約1分間はリモコンが操作を受け付けませんが、故障ではありません。

お願い

- 使用期間中は電源ブレーカーを切らないでください。
- 長期間停止後、運転開始をするときは、12時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。

運転のしかた

- 1 『運転/停止』を押して運転する
- 2 運転切換『F1』を押して「運転モード」を選ぶ
 - 運転切換『F1』ボタンを押すたびに運転モード表示が変わります。
 - 自動 → 暖房 → ドライ → 冷房 → 送風
 - 冷暖フレックス室外機のみ「自動」が表示され選択可能です。
- 3 『運転/停止』を押して運転を止める



風量を変えるとき

風量切換『F2』を押して選ぶ

- 風量切換『F2』ボタンを押すたびに風量表示が変わります。
- 自動 → 急 → 強+ → 強 → 弱+ → 弱
- 送風運転時は「自動」は選べません。



温度を変えるとき

「上」「下」を押して選ぶ

- 「上」を押すと温度が上がります、「下」を押すと温度が下がります。
- ・設定できる温度範囲は、省エネneoリモコンの取扱説明書の設定温度範囲制限をご覧ください。
- ・クール(ウォーム)ピズ設定時は温度範囲が制限されます。
- ・送風運転時は温度の設定ができません。



おすすめの設定温度

暖房	22～24℃
ドライ	室温より2～3℃低め
冷房	26～28℃

お知らせ

冷房のとき

- 約1分後に運転を開始します。

冷暖自動のとき

- 設定温度と室温の差によって暖房・冷房運転を自動的に切り換えます。

暖房のとき

- 暖房運転の場合は停止後30秒ほど送風運転を続ける場合があります。
- 暖房運転開始時、室内送風機は停止したままで3～5分間予熱運転したあと、温風を吹き出します。（リモコン表示部の「暖房準備」表示が点灯します。）
- お部屋の温度が設定温度に達して室外機が停止しているときは、微風となり風量が極端に小さくなります。

タイマー運転

3つのタイマーの種類が選べます。(168時間の設定ができます。)

切タイマー

入タイマー

切り忘れ防止タイマー

設定時間になると運転を停止します。 設定時間になると運転を開始します。 毎回、設定時間後運転を停止します。

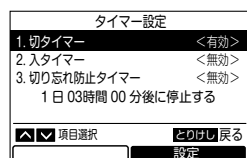
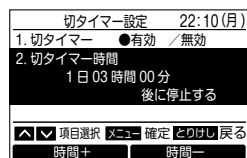
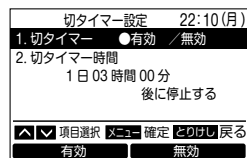
タイマー運転のしかた

- 1 メニュー画面で「4. タイマー設定」を選んで **設定** 『F2』を押す
● 設定されている場合は<有効>、設定されていない場合は<無効>と表示されます。
- 2 『△』『▽』を押して設定したいタイマーを選ぶ
- 3 **設定** 『F2』を押す



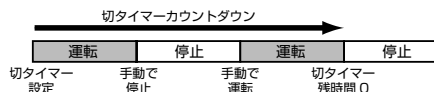
1. 切タイマー エアコンを停止させたい時間をタイマーで設定できます。

- 1 切タイマー設定画面で『△』『▽』を押して **1. 切タイマー** を選ぶ
- 2 **有効** 『F1』を押す
● **無効** 『F2』を押すと設定は解除されます。
- 3 『△』『▽』を押して **2. 切タイマー時間** を選ぶ
- 4 **時間+** 『F1』 **時間-** 『F2』を押して時間を設定する
● 24時間までは30分ごと、24時間以後は1時間ごとの設定ができます。
- 5 『メニュー』を押す
● タイマー設定画面に戻ります。



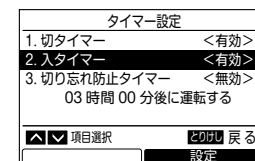
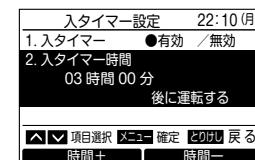
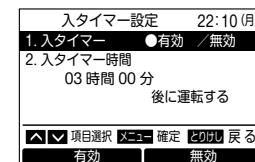
■切タイマー動作について

- 切タイマーで設定した時間後にエアコンが停止します。その間にエアコンの停止・運転が行われても切タイマーカウントダウンは継続されます。



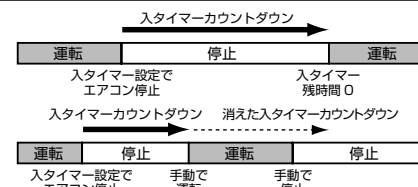
2. 入タイマー エアコンを運転させたい時間をタイマーで設定できます。

- 1 入タイマー設定画面で『△』『▽』を押して **1. 入タイマー** を選ぶ
- 2 **有効** 『F1』を押す
● **無効** 『F2』を押すと設定は解除されます。
- 3 『△』『▽』を押して **2. 入タイマー時間** を選ぶ
- 4 **時間+** 『F1』 **時間-** 『F2』を押して時間を設定する
● 24時間までは30分ごと、24時間以後は1時間ごとの設定ができます。
- 5 『メニュー』を押す
● タイマー設定画面に戻ります。



■入タイマー動作について

- 入タイマーで設定した時間にエアコンが運転を開始します。入タイマーを設定したときにエアコンは停止します。入タイマーカウントダウン中にエアコンを運転したときは入タイマーは無効になります。



■切／入タイマー動作について

- 切／入タイマーは1回のみの有効です。
- 次の場合は切／入タイマーは動作しません。
切／入タイマー無効中・機能設定中・集中管理中（運転／停止が禁止の場合）
- 2リモコンで使用している場合、子リモコンでの設定はできません。
- 切／入タイマーの設定範囲は、最小30分から最大168時間（7日）までです。
- 『とりけし』を押すと、変更は行われず、変更前の状態でタイマー設定画面に戻ります。
- 停電時は、切／入タイマー設定は解除されます。（無効になります。）
- 切／入タイマーが有効のとき、詳細表示画面に「⌚」が表示されます。

タイマー運転 (つづき)

3. 切り忘れ防止タイマー エアコン運転開始から停止するまでの時間をタイマーで設定します。

- 1

切り忘れ防止タイマー画面で『へ』『∨』を押して **1. 切り忘れ防止タイマー** を選ぶ
- 2

有効

『F1』を押す

無効

『F2』を押すと設定は解除されます。
- 3

『へ』『∨』を押して **2. 切り忘れ防止タイマー時間** を選ぶ
- 4

時間+

『F1』

時間-

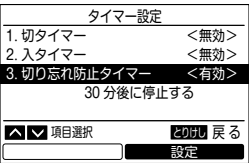
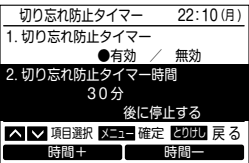
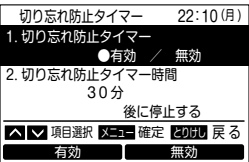
『F2』

を押して時間を設定する


● 10 分ごとに設定ができます。
- 5

『メニュー』を押す

● タイマー設定画面に戻ります。



■ 切り忘れ防止タイマー動作について

- エアコン運転を開始したあと、設定した時間後にエアコンが停止します。
切り忘れ防止タイマーカウントダウン

- 次の場合は切り忘れ防止タイマーは動作しません。
切り忘れ防止タイマー無効中・異常中・試運転中・機能設定中・タイマー設定中・集中管理中(運転/停止が禁止の場合)
- 2リモコンで使用している場合、子リモコンでの設定はできません。
- 切り忘れ防止タイマーの設定範囲は、最小 30 分から最大 240 分までです。
- 『とりけし』を押すと、変更は行われず、変更前の状態でタイマー設定画面に戻ります。
- 切り忘れ防止タイマーが有効のとき、詳細表示画面に「⌚」が表示されます。

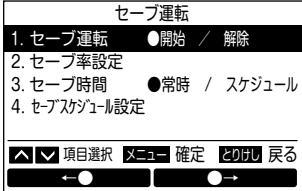
セーブ運転

省エネを目的とした設定ができます。

- 1

『省エネ』ボタンを押し、省エネ設定画面で **1. セーブ運転** を選ぶ
セーブ運転画面で『へ』『∨』を押して **1. セーブ運転** を選ぶ
- 2

セーブ運転を開始する場合は **2. セーブ率設定** **3. セーブ時間** **4. セーブスケジュール設定** を設定後、
←●『F1』で **開始** を選んで『メニュー』を押す
セーブ運転を停止させる場合は
●→『F2』で **解除** を選んで『メニュー』を押す



セーブ率設定

- 1

セーブ運転画面で『へ』『∨』を押して **2. セーブ率設定** を選んで **設定** 『F2』を押す
- 2

%+

『F1』

%-

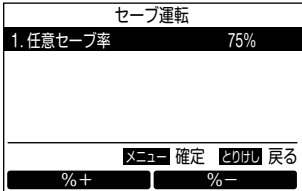
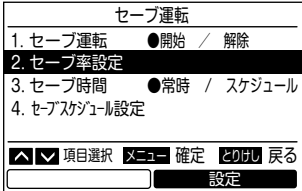
『F2』

数値を設定する

● 任意セーブ率は、50 ~ 100%の範囲で、10%刻みで設定してください。(1%刻みで選択できますが、1の位は切り捨てで動作します。) 数値が低いほど省エネ効果が高い運転を行います。
- 3

『メニュー』を押す

● 設定中の画面表示後にセーブ運転画面に戻ります。



お知らせ

- セーブ運転ではエアコンの能力を抑えた運転になりますので、よく冷えない(暖まらない)ことがあります。
- セーブ運転が行われているときには、表示画面に「🌡」が表示されます。
- 2リモコンで使用している場合、子リモコンでの設定はできません。
- セーブ運転設定の前に時計の設定を行ってください。
- 集中管理リモコンの設定によっては、リモコンで設定できない場合もあります。
- 時計が点滅状態(未設定)時は、セーブスケジュール運転を行いません。

お手入れ

お手入れをするときは、必ず電源ブレーカーを切ってから行ってください。

⚠ 注意

エアコンを水洗いしない
感電の原因になります。

ぬれた手でスイッチを操作しない
感電の原因になります。



禁止

グリル落下防止用のひもを取りはずして掃除を行った場合は、掃除終了後、ひもを必ず取り付ける
落下によりけがの原因になります。



取り付ける

お願い

- アルコール・ベンジン・シンナー・ガラスクリーナー・みがき粉などは使用しないでください。製品を傷めます。
- 次亜塩素酸ナトリウムは使用しないでください。金属部に腐食を起こすおそれがあります。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしないでください。変質したり表面がはがれたりすることがあります。



本体・天井パネル

やわらかい布でからぶきする

- 本体・天井パネルの汚れがからぶきで落ちないときは、40℃以下のぬるま湯ですすいだ布をよくしぼって拭いてください。
- 吸込グリルは定期的にホコリを掃除機で吸い取るか、40℃以下のぬるま湯ですすいだ布をよくしぼって拭いてください。

長期間使わないとき

1 1～2時間送風運転をして内部を乾燥させる。

2 リモコンの『運転／停止』ボタンを押して運転を停止して、電源ブレーカーを切る。

3 エアフィルターのお手入れをする。

リモコン

やわらかい布でからぶきする

- 水洗いをしないでください。故障の原因となります。

定期的な点検

- 長時間使っていると、熱・湿気・ホコリなどの影響や使用状態により部品が劣化し、故障したり、除湿水の排水が悪くなる場合があります。
- 通常のお手入れとは別にお買い上げの販売店などによる点検整備（有料）をおすすめします。

お願い

- 熱交換器の洗浄は、必ず高圧洗浄で行ってください。
強アルカリ性・強酸性など、洗浄力の強い市販洗浄剤を使用すると、熱交換器の表面処理が侵され、アクア樹脂コーティングの機能が低下するおそれがあります。詳しくは、弊社営業部または、お買い上げの販売店にご相談ください。

お願い

本室内ユニットは2種類のフィルターを有していますので、フィルター毎の点検および交換方法をよくお読みください。（吸込口：エアフィルター、吹出口：HEPA フィルター）

エアフィルターの掃除（掃除の手順）

本室内ユニットではエアフィルターのお手入れ時期はリモコンに表示されません。

- エアフィルターの清掃は定期的に行ってください。また、汚れの多いところでご使用になる場合は清掃の頻度を多くしてください。
- 汚れがとれなくなりましたらエアフィルターを交換してください。

パネルが下面吸込タイプの場合

1 吸込グリルを開ける

- 吸込グリルの「ツマミ」を⇒方向にスライドさせて下方に開きます。

2 エアフィルターを取りはずす

- エアフィルターをツメBからはずします。
ツメA側へ押しながら手前に引くと取り出せます。

3 ホコリを掃除機で吸い取るか水洗いする

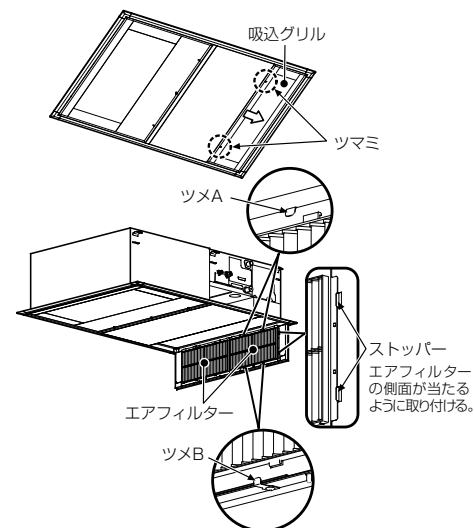
- 汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。
- 水洗いしたあとは、日陰でよく乾かしてください。

4 エアフィルターを取り付ける

- エアフィルターをツメAへ差し込み、ツメA側へ押しながらツメBへ引っ掛けると取り付けられます。
側面のストッパーを基準に取り付けてください。

5 吸込グリルを閉じる

- 吸込グリルのツマミを取付時同様に⇒印方向にスライドさせて閉めます。
注) 取付後、ツマミが必ず元の位置に戻っていることを確認してください。



パネルが背面吸込タイプの場合

- 取り付けられたエアフィルターの種類により掃除のしかたが異なります。工事をされた方、または、お買い上げの販売店にお確かめください。

お手入れ (つづき)

HEPA フィルターの交換

本室内ユニットでは HEPA フィルターの交換目安時期がリモコンに表示されます。ただし、HEPA フィルターの交換時期は使用環境によって大きく変わりますので、定期的に点検してください。1 年に 2 回程度が目安です。

ご注意

- HEPA フィルターは洗浄などによる再生使用はできません。性能が低下した場合は必ず新品と交換してください。
- 新しいフィルターは、当社の製品を必ずご使用ください。
- 本室内ユニットにおいて、リモコン画面に表示されている「フィルター清掃」という箇所はすべて「HEPA フィルター交換」を示しますのでご注意ください。
- HEPA フィルターの交換後は、必ず運転積算時間をリセットしてください。

フィルターチェックアイコン ! について

- フィルターチェックアイコンは詳細画面でのみ表示されます。(簡易画面からの切換方法は 3 ページをご確認ください。)
- フィルターチェックアイコンが表示されたときは、必ず HEPA フィルターの交換を行ったあとにリモコンからリセットを実施してください。(リセットした場合、運転積算時間が初期化されます。)
- 本室内ユニットはリモコンにフィルターチェックアイコンを表示して HEPA フィルター交換時期をお知らせします。また、フィルターチェックアイコンが表示されているときにエアコンを運転すると、右図のような画面が表示されます。表示中に操作ボタンを押すか、5 秒以上放置すると表示は消えます。
- 本室内ユニットのフィルターチェックアイコンは、送風の急風運転で風量低下を検出した場合または運転積算時間が既定の時間に達した場合に表示されます。



送風運転時(急風)の点検モード(風量低下検出)による表示

- 点検前に吸込口のエアフィルターを清掃してください。(清掃は「エアフィルターの掃除(掃除の手順)」を参照)
- フィルターチェックアイコンが表示されていない状態で送風運転(急風)を 10 分以上行い、フィルターチェックアイコンが表示された場合、HEPA フィルターの交換目安時期となります。ただし、お部屋の空気清浄度の重要度により必要があれば所定の風量・清浄度が確保できているかを測定し、交換が必要か確認してください。
- フィルターチェックアイコン表示後も室内ユニットは停止せずに運転を継続します。そのまま運転すると清浄度の低下や運転が異常停止し、エアコン故障の原因になる場合がありますのでご注意ください。

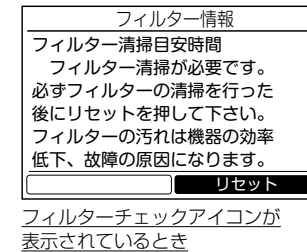
運転積算時間による表示

- 本室内ユニットは一定時間運転するとフィルターチェックアイコンがリモコンに表示されます。(一般的な使用で約 5 年)
- 本室内ユニットはフィルター交換までの残時間は表示されません。

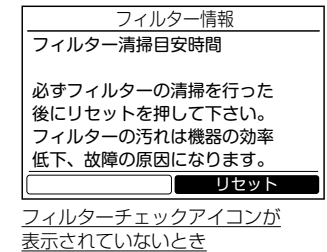
フィルターチェックおよび運転積算時間のリセット方法

- 下記操作方法でフィルターチェックおよび運転積算時間をリセットすることができます。

- 1 メニュー画面で「7. フィルター情報」を選んで **設定** 『F2』を押す
- 2 **リセット** 『F2』を押す



フィルターチェックアイコンが表示されているとき



フィルターチェックアイコンが表示されていないとき

HEPA フィルター交換方法

HEPA フィルターは洗浄などによる再生使用はできません。性能が低下した場合は必ず新品と交換してください。

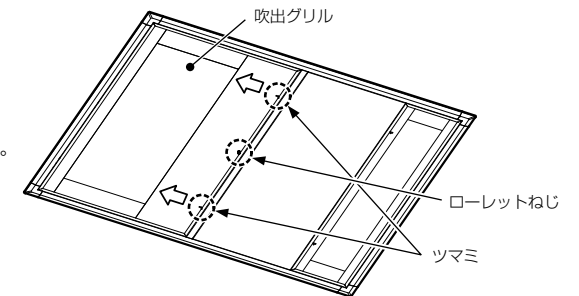
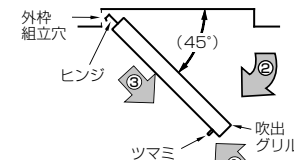
⚠ 注意

- HEPA フィルターは重量物のため作業中の落下防止を十分に行ってください。
- 交換作業は必ず 2 人以上で作業を行ってください。
- 交換はお客様ご自身で行わず、専門の業者に依頼してください。
- HEPA フィルターは枠部分を持ち、ろ材は触らないでください。



1 吹出グリルを取りはずす

- ローレットねじを緩めます。
- 吹出グリルの「ツマミ」を ⇨ 方向にスライドさせて下方に開きます。
- 落下防止ひも(4 カ所)をはずし、吹出グリルをヒンジから取りはずします。



お手入れ (つづき)

2 HEPAフィルターを取りはずす

- HEPA フィルターの仮掛け金具 (4 カ所) を HEPA フィルター側に向け、仮固定します。
- HEPA フィルターの固定金具のナット (4 カ所) をボルト先端まで緩めます。
- 固定金具の片側を ① ⇨ 方向に回転させ、さらに ② ⇨ 方向に引き抜きます。
- HEPA フィルターを持ちながら仮掛け金具を ③ ⇨ 方向へ回し、HEPA フィルターを取りはずします。

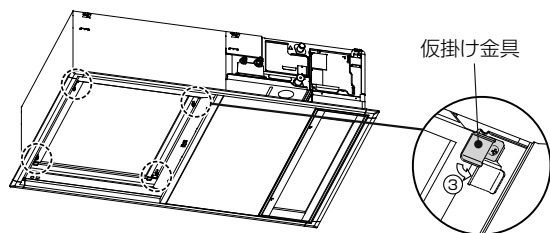
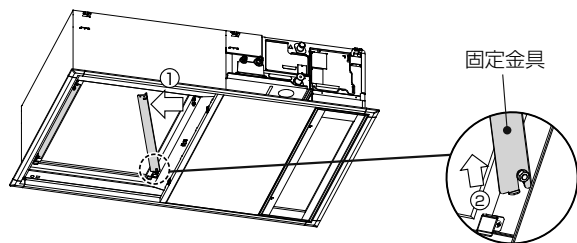
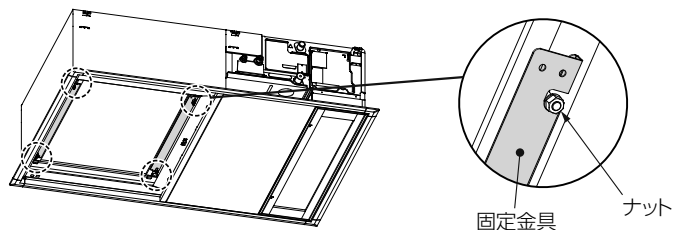
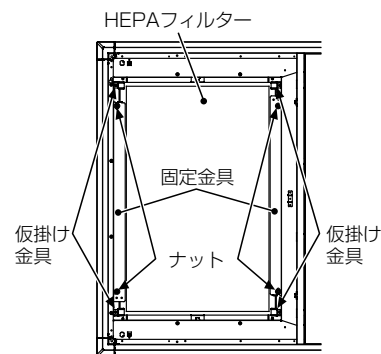
⚠ 注意

HEPA フィルターを取りはずすときは、室内の清浄度に影響が出ないよう、慎重に行ってください。

また、踏み台に乗って作業を行うときは、転倒しないように注意してください。



指示

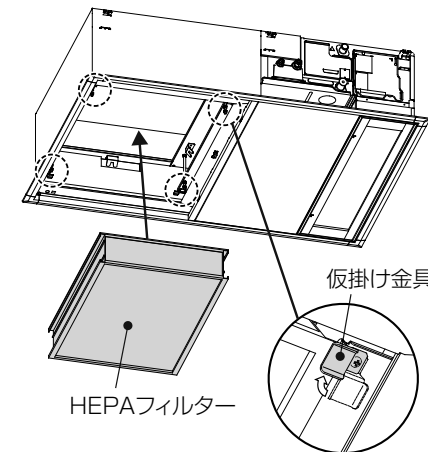


3 HEPAフィルターを新しいものと交換する

- これまでの作業と逆の順序で、HEPA フィルターを取り付けてください。
- HEPA フィルターの取付の際は、仮掛け金具 (4 カ所) を使用し、仮固定してください。

お願い

- HEPA フィルターを取り付けるときは、HEPA フィルターのフレームを持ち、ろ材に触れないように作業してください。ろ材に傷がつくと、清浄度に影響が出るおそれがあります。
- HEPA フィルターのパッキンが製品側に押し付けられるようにしっかりと締め付けてください。HEPA フィルターのパッキンを 2 ～ 3mm 程度押しつぶします。仮掛け金具から HEPA フィルターが浮きますが、異常ではありません。締付が弱いと室内の清浄度に影響が出る場合があります。



4 吹出グリルを取り付ける

- 吹出グリルのツマミを取付時同様に ⇨ 方向にスライドさせて閉めます。
- ツマミが必ず元の位置に戻っていることを確認してローレットねじを締め付けます。

交換用 HEPA フィルターの仕様

- 交換用 HEPA フィルターはお買い上げの販売店にご用命ください。

別売部品	部品形名	室内ユニット適用機種
HEPA フィルター(標準)	TCB-UFP801UC	MMU-UP451CH, UP561CH, UP711CH, UP801CH
抗菌 HEPA フィルター	TCB-UFP801UCA	

据付について

〈フロン排出抑制法による冷媒充填量確認のお願い〉

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

●この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。

●この製品の工場出荷時のフロン類の数量は「仕様」の項目に記載しています。システム全体でのフロン類に関する数値は、室外機に表示されています。



据付場所について

⚠ 警告

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない
万一ガスが漏れて室内ユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。



⚠ 注意

●室外ユニットが基礎に固定されているか確認する
基礎に固定しないと転倒などによる事故の原因になることがあります。
●エアコンの吹出口は火災報知器より 1.5m 以上離して設置する
火災発生時に火災報知器の作動が遅れる、または検出できない場合があります。



●蒸気が多く発生するような場所、蒸気が発生させる機器近傍に室内ユニットを設置しない
ユニット内蔵部品が結露し、故障するおそれがあります。



- 室外ユニットの吸込口・吹出口の周囲は十分あけて、通風を妨げるような障害物を置かないでください。放熱が妨げられ性能が低下したり、保護装置がはたらき運転ができないことがあります。
- 強い風が室外ユニットの吸込口・吹出口に向かって吹き付けるおそれのあるところはさけてください。
- 室外ユニットから出るドレンは、水はけのよいところに排水してください。
- 室内ユニットに HEPA フィルターが取り付けられているか確認してください。HEPA フィルターが取り付けられていませんと、清浄度低下の原因になります。
- 室内ユニットにエアフィルターが取り付けられているか確認してください。エアフィルターが取り付けられていませんと、エアコン内の熱交換器などにホコリが付き、水漏れの原因になることがあります。
- エアコン本体およびリモコンからテレビやラジオを 1m 以上離してください。映像の乱れや雑音が入ることがあります。
- エアコンの吹出口は火災報知器より 1.5m 以上離して設置してください。火災発生時に火災報知器の作動が遅れる、または検出できない場合があります。
- 外気温 - 15℃以下の運転が 72 時間以上連続するような場所への設置はお控えください。凍結により室外熱交換器が破損することがあります。72 時間を超えてご使用になる場合は、弊社営業担当までお問い合わせください。
- 降雪地区でご使用の場合は、室外ユニットに防雪架台・防雪フードなどを取り付けてください。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

運転音にもご配慮を

- 運転音や振動が他へ伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所をお選びください。
- 室外ユニットの吹出口の近くに障害物を置きますと、運転音増大のもとになることがあります。
- 室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。

次のような場所はさけてください

- 海岸地区など塩分の多いところ、温泉地など硫化ガスの発生するところ
- 酸性またはアルカリ性雰囲気のある場所
(温泉地帯・化学薬品工場・すし酢など酸性雰囲気や直接吸い込む場所・燃焼機の排気を吸い込む場所・次亜塩素酸ナトリウムを噴霧する場所など)
熱交換器 (アルミフィン・銅パイプ) などに腐食を起こすおそれがあります。
- 切削油などの機械油の立込める雰囲気のある場所
熱交換器の腐食、熱交換器目づまりによる霧の発生、フィルター目づまりによる性能低下および結露、プラスチック部品の破損、ヒーターの故障、断熱材のはがれなどを起こすおそれがあります。
- 食用油煙が発生する場所
(食用油を使用する厨房・焼肉・お好み焼き店など)
フィルター目づまりによる性能低下および結露、プラスチック部品の破損などを起こすおそれがあります。
- 金属粉などの粉塵が発生する場所
金属粉などがエアコン内部に付着・堆積すると自然発熱することがあり、火災の原因になります。
- 吹出しの気流を乱す換気口や照明器具などの障害物が近くにある場所
気流の乱れにより、能力低下や機器の停止のおそれがあります。

- 電源に自家発電装置を使用している場所
電源周波数、電圧が変動しエアコンが正常に動作しないことがあります。
- クレーン車・船舶など移動するもの
- 特殊用途 (食品・動植物・精密機器・美術品の保存など) では使用しないこと
保存物の品質などに損害のおそれがあります。
- 高周波の発生する機器 (インバータ機器・自家発電機・医療機器・通信機器) がある場所
エアコンの誤動作や制御の異常やそれら機器へのノイズによる弊害が生じるおそれがあります。
- 据え付けただに、ぬれては困るものがある場所
湿度 80%以上のときやドレン口が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じるおそれがあります。
- 有機溶剤を使用している場所
- ドアまたは窓の近くで高湿度の外気と接するおそれのある場所 (結露するおそれがあります)
- 特殊なスプレーを頻繁に使用する場所
- 液化炭酸冷却など化学プラント

電気配線

⚠ 警告

アース工事が正しく行われているか確認する

法律により口種接地工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アースを確認する

⚠ 注意

漏電遮断器 (過電流保護機能付き) が取り付けられているか確認する

法規上漏電遮断器の取り付けが必要です。
漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。



漏電遮断器を確認する

正しい容量の電源ブレーカーを使用する
針金や銅線を使用すると火災や故障の原因になります。電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。



正しい容量の電源ブレーカーを使用する

知っておいていただきたいこと

運転前の確認

- 運転を開始する 12 時間以上前に電源ブレーカーを入れます。
- アース線が断線したり、はずれていないか確認します。
- 室内ユニットにエアフィルターおよび HEPA フィルターを付け忘れていないか確認します。

暖房能力について

- 暖房は室外の熱を吸収し、室内に放熱するヒートポンプ方式です。外気温が下がると、暖房能力は低下します。
- 外気温が低いときは、他の暖房器具との併用をおすすめします。

暖房運転中の除霜

- 暖房運転中、室外ユニットに霜がついた場合、暖房効果を高めるために自動的に除霜運転（約 2 ～ 10 分間）になります。
- 除霜運転中は、室内ユニットの送風機は停止します。

3分間保護について

- 運転を停止してすぐに再開したときや、電源ブレーカーを入れたときには約 3 分間、室外ユニットは運転しません。これは機械を保護するためです。

停電について

- 運転中に停電した場合はすべての運転を停止します。
- 運転を再開するときは 運転／停止 ボタンを押しながらください。

停止ユニットのファン回転について

- 冷房・暖房運転時は停止している室内ユニットでも、他の室内ユニットが運転中の場合は機械保護のため一定時間ファンが回転する場合があります。

保護装置(高圧スイッチ)について

エアコンに無理がかかったときに自動的に運転を停止させる装置です。
保護装置が作動した場合、運転が停止し運転ランプが点滅します。
保護装置が作動した場合はリモコン表示部の「点検」の文字と点検コードが表示されます。次のようなときに保護装置がはたらくことがあります。

冷房運転中

- 室外ユニットの吸込口や吹出口がふさがれているとき。
- 室外ユニットの吹出口に強い風が連続して吹き付けたとき。

暖房運転中

- 室内ユニットのエアフィルターおよび HEPA フィルターにホコリやゴミが異常に多く付着しているとき。
- 室内ユニットの吹出口がふさがれているとき。

保護装置が作動した場合は、電源ブレーカーを切り原因を取り除いてからもう一度運転しなおしてください。

パッケージエアコンの冷房・暖房運転について

- パッケージエアコンでは室内ユニットごとに個別制御できますが、同じ室外ユニットに取り付けられた室内ユニットでは冷房運転と暖房運転を同時に行うことはできません。同時に運転を行ったときは、冷房運転をしている室内ユニットは停止し、操作部の「運転準備」が点灯します。暖房運転している室内ユニットはそのまま運転します。エアコンの管理者によって、冷房または暖房に固定されている場合、設定以外の運転はできません。設定以外の運転を行ったときは、操作部の「運転準備」が点灯して運転を停止します。

暖房運転の特性

- 運転開始時すぐに風は出てきません。3 ～ 5 分後（室内・室外の温度により前後します。）、室内熱交換器が暖まってから温風が吹き出します。
- 運転中、外気温が高くなると室外ユニットが停止することがあります。
- 同じ室外ユニットに取り付けられた室内ユニットでは、暖房運転と送風運転を同時に行うことはできません。同時に運転を行ったときは、送風運転をしている室内ユニットは停止し、操作部の「運転準備中」が点灯します。
- 暖房運転時は停止している室内ユニットへも、機械保護のため、冷媒が流れる場合があります。そのため停止している室内ユニットから音が発生したり、室内ユニットの周辺が暖まることがあります。

運転可能温度範囲


冷房運転	外気の温度	－5℃以上 ※1 48℃以下
	部屋の温度	21℃以上 32℃以下
	部屋の湿度	80%以下 80%を超えた状態で長時間運転すると機械の表面に露が付き滴下したり、吹出口から露が吹き出すことがあります。
暖房運転	外気の温度	－25℃以上 ※2 21℃以下
	部屋の温度	15℃以上 28℃以下

- この条件は接続室外機がスーパーマルチ u シリーズの場合です。スーパーマルチ u シリーズ以外の場合は、室外ユニット付属の取扱説明書をご確認ください。
- この条件以外で運転されますと保護装置がはたらき運転できないことがあります。
※1 外気温が 0℃ 以下で冷房室内ユニットの運転容量が 4 馬力相当以下の場合、冷房能力が極端に低下することがあります。
※2 外気温－15℃ 以下の運転が 72 時間以上連続するような場所への設置は控えください。凍結により室外熱交換器が破損することがあります。72 時間を超えてご使用になる場合は、弊社営業担当までお問い合わせください。外気温と暖房能力の関係は技術資料などでご確認ください。

このようなときには

修理サービスをお申しつける前に次の点をお調べください。

故 障 で は あ り ま せ ん		症 状	原 因
故障ではありません		室外ユニット <ul style="list-style-type: none"> ● 白い霧状の冷気や水が出る ● 時々“ブシュ”という音がする 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動的に室外ユニットの送風機が停止し、除霜を行っているためです。 ● 除霜運転開始および終了時に電磁弁が作動する音です。
		室内ユニット <ul style="list-style-type: none"> ● 時々“シュー”という音がする ● “ピシッ”という小さな音がする ● 吹き出す風が臭う ● 「運転準備中」表示が点灯している ● 「運転切換管理中」表示が点灯している ● 「暖房準備中」表示が点灯している ● 停止中の室内ユニットから音や白い蒸気または、冷気が出る ● エアコンの電源を入れたときに“カチカチ”という音がする ● リモコンの液晶部に触れると液晶表示部がにじむ ● 停止中の室内ユニットのファンが動く 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転開始時や運転中、停止直後などに、水の流れるような音や、運転開始直後2～3分間運転音が大きくなることがありますが、これは冷媒の流れる音やドレンの排水音です。 ● これは温度変化により、熱交換器などがわずかに伸縮するため発生する音です。 ● 壁やじゅうたん・家具・衣類・タバコ・化粧品などの雑多な臭いがエアコンに付着しているためです。 ● 別の室内ユニットが暖房運転しているため、冷房運転または送風運転できないときに表示します。 ● 外気温度が運転可能範囲外ではありませんか。(11ページ参照) ● エアコンの管理者によって、冷房または暖房に固定されていて、指定と逆の運転をしたときに表示します。 ● 冷風の吹き出しを防止するために送風を停止したときや、室外ユニットが除霜を行っているときに表示します。 ● 停止中の室内ユニットに油や冷媒が滞留するのを防ぐため、一時的に冷媒を流していますので“シャー”“キュルキュル”などの冷媒の流れる音や、他の室内ユニットが暖房運転のときには白い蒸気、冷房運転のときには冷気が出る場合があります。 ● 電源を入れたときに膨張弁が動作する音です。 ● 静電気により一時的に液晶表示部がにじむ場合があります。 ● マルチシステムでは停止ユニットの冷媒・油回収制御を行っており、ファンが動作することがあります。 ● 機器が点検状態になっています。解除するには  ボタンを押してください。 リモコン表示の「設定中」の点滅が消えたあとにボタンを押して運転を再開させてください。 ● クリーンエリア用天井カセット形の吹き風速は一般的なエアコンに比べて低速です。このためほとんど風速を感じない場合があります。
もう一度お調べください		自動的に運転したり停止する	<ul style="list-style-type: none"> ● タイマーが「入」「切」になっていませんか。
		運転しない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電ではありませんか。 ● 電源ブレーカーが切れていませんか。 ● 電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ● 保護装置が作動していませんか。 (運転ランプは点灯している) ● タイマーが「入」になっていませんか。 (運転ランプは点灯している) ● 冷房と暖房を同時に選択していませんか。 (リモコン表示部の「運転準備中」表示が点灯します) ● 外気温度が運転可能範囲外ではありませんか。(11ページ参照)

症 状	原 因
よく冷えない よく暖まらない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか。 ● ドアや窓が開いていませんか。 ● エアフィルターやHEPA フィルターにホコリやゴミがつまっていますか。 ● 室内ユニットの吹きフラップが適正な位置になっていますか。 ● 風量切換が「弱」または運転切換が「送風」になっていませんか。 ● 設定温度が適正な温度になっていますか。 ● 冷房と暖房を同時に選択していませんか。 (リモコン表示部の「運転準備中」表示が点灯します) ● 外気温度が運転可能範囲外ではありませんか。(11ページ参照)

次の症状のときはただちに運転を中止し、電源ブレーカーを切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。

- スイッチの作動が不確実なとき
- ヒューズやブレーカーがたびたび切れるとき
- 誤って異物や水を入れてしまったとき

- 保護装置の作動原因(11ページ)を取り除いても運転できないとき
- その他、いつもと違う状態のとき

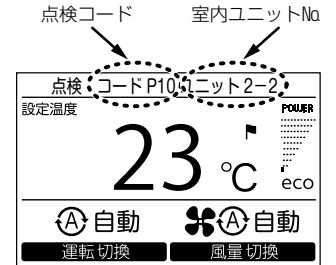
故障診断

確認と点検

エアコンに不具合が発生した場合、リモコン表示部に点検コードと室内ユニットNoが点滅表示されます。

* 点検コードは運転中のみ表示されます。

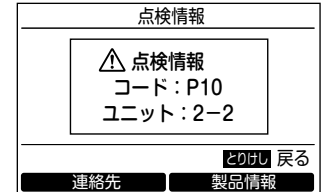
点検コードと室内ユニットNoが表示されているときに『とりけし』を押すと、点検情報画面が表示されます。



点検情報画面で

連絡先 『F1』を押すと、連絡先が表示されます。

製品情報 『F2』を押すと、製品の形名と製造番号が表示されます。



点検整備について

- ご使用状態によっても変わりますが、エアコンを数シーズンお使いになると内部が汚れ、性能が低下することがありますので、7～9ページの日常のお手入れとは別に点検整備（有料）をおすすめいたします。

簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法により簡易点検が義務付けられています。
簡易点検は、3か月に1回以上、下記内容にそってお客様が実施されるかまたは、専門業者へ依頼してください。

簡易点検項目	
室外機点検	・機器の異常振動・異常運転 ・機器および機器周辺の油のにじみ ・機器のキズの有無・熱交換器の腐食・錆など
室内ユニット点検	・熱交換器の霜付きの有無

点検は、安全で容易に目視ができる場合を除いて、危険な場合は専門業者へ依頼してください。
また、「冷えが悪くなった」「エアコンがきかなくなった」などの状況になりましたら、これらの点検を行うとともに専門業者へお問い合わせください。
簡易点検に関しては、下記サイト内の検索で「簡易点検の手引き」を検索してからダウンロードして詳細を確認してください。
環境省ホームページ：http://www.env.go.jp/

仕様

室内ユニット クリーンエリア用天井カセット形 下面吸込タイプ

室内ユニット形名			MMU-UP451CH	MMU-UP561CH	MMU-UP711CH	MMU-UP801CH
種類	機能		冷暖房兼用形			
	ユニット構成		分離形			
	凝縮器の冷却方式		空冷式			
	送風方式		直接吹出形			
電源			単相 200V 50/60Hz（室内専用電源）			
性能	定格冷房能力 (kW)		4.5	5.6	7.1	8.0
	定格暖房能力 (kW)		5.0	6.3	8.0	9.0
騒音	音圧レベル ※1	急 (dB(A))	47		49	
		強+ (dB(A))	46		48	
		強 (dB(A))	45		47	
		弱+ (dB(A))	44		46	
		弱 (dB(A))	43		45	
	音響パワーレベル ※2	急 (dB(A))	61		63	
		強+ (dB(A))	60		62	
		強 (dB(A))	59		61	
		弱+ (dB(A))	58		60	
		弱 (dB(A))	57		59	
総質量 (kg)		63				
外形寸法	高さ (mm)	385				
	幅 (mm)	1020				
	奥行 (mm)	1555				
HEPAフィルター形名			TCB-UFP801UC、UFP801UCA			
天井パネル形名			RBC-UC801PG(W)			

- ※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616：2006 に準拠した測定方法です。
※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616：2015に基づいて測定した値です。
・地球温暖化係数 (GWP) R410A：2090

クリーンエリア用天井カセット形 背面吸込タイプ

室内ユニット形名			MMU-UP451CH	MMU-UP561CH	MMU-UP711CH	MMU-UP801CH
種類	機能		冷暖房兼用形			
	ユニット構成		分離形			
	凝縮器の冷却方式		空冷式			
	送風方式		直接吹出形			
電	源		単相 200V 50/60Hz（室内専用電源）			
性能	定格冷房能力 (kW)		4.5	5.6	7.1	8.0
	定格暖房能力 (kW)		5.0	6.3	8.0	9.0
騒音	音圧レベル ※1	急 (dB(A))	41		43	
		強+ (dB(A))	40		42	
		強 (dB(A))	39		41	
		弱+ (dB(A))	38		40	
		弱 (dB(A))	37		39	
	音響パワーレベル ※2	急 (dB(A))	55		57	
		強+ (dB(A))	54		56	
		強 (dB(A))	53		55	
		弱+ (dB(A))	52		54	
		弱 (dB(A))	51		53	
総	質量 (kg)		63			
外形寸法	高	さ (mm)		385		
	幅	(mm)		1020		
	奥行	(mm)		1555		
HEPAフィルター形名			TCB-UFP801UC、UFP801UCA			
天井パネル形名			RBC-UC801P(W)			

- ※1 音圧レベルの測定方法は、JIS B 8616：2006 に準拠した測定方法です。
※2 音響パワーレベルは、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616：2015に基づいて測定した値です。
・地球温暖化係数 (GWP) R410A：2090

MEMO

[illegible]

MEMO

15

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

お電話・FAXをいただく際には、番号をお確かめのうえ
おかけ間違いのないようにお願いします。

フリーダイヤル
トウシバ
0120-1048-00

修理受付時間：9:00～20:00 (年中無休)

相談受付時間：9:00～20:00 (月～土)

携帯電話・IP電話 03-5326-5038 (通話料：有料)
FAX 0947-32-8018 (通信料：有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書 (別添)

この東芝パッケージエアコンには、保証書を別途添付しております。

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- この東芝パッケージエアコンの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

フロン排出抑制法に基づく点検実施のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法に基づく点検を実施してください。「点検記録簿」には、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての履歴を記載してください。

費用等点検に関する詳細につきましては、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにお問い合わせください。

「点検記録簿」に関しては、下記サイト内にありますので、ダウンロードしてご使用ください。

日本冷凍空調設備工業連合会のホームページ：http://www.jarac.or.jp/

修理を依頼されるときは

(出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源ブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。修理に際して冷媒を回収するときは、フロン排出抑制法の規程に従ってください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。

保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

技術料・部品代・出張料などから構成されています。	
技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。
出 張 料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品 名	パッケージエアコン	
形 名		
お 買 い 上 げ 日	年 月 日	
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に	
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。	
お 名 前	電話番号	訪問希望日

記入されておくと便利です。

お 買 い 上 げ 店 名	
電 話 番 号	電話 ()

日本キヤリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地

SN:EH99969501-①